

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587006501	科目番号 / Course code	05870065
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 11521_005		
授業科目名 / Course title	b3仕事と健康 / Work and Health		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	松浦 江美 / Matsura Emi, 橋爪 可織 / Hashizume Kaori, 三浦 沙織		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	松浦 江美 / Matsura Emi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	松浦 江美 / Matsura Emi, 橋爪 可織 / Hashizume Kaori, 三浦 沙織		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	emimatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科2階 長崎市坂本1-7-1		
担当教員TEL/Tel	095-819-7924 (教員室直通)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	1. 授業終了後 2. メールによる質問は以下のメールアドレスに連絡してください。 emimatsu nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。仕事の場や労働の中に潜む健康問題、仕事を継続する上での望ましい健康術について、長崎の人々が働いている職場などを取り入れながら学習する。		
授業到達目標/Course goals	1. 仕事の場や労働の中に潜む健康問題について述べるができる。 2. 仕事を継続する上での生活場面での健康問題について考えることができる。 3. 仕事を継続する上での自分自身の健康について考えることができる。 4. 仕事を継続する上での望ましい健康術について考えることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への貢献度、レポート課題等を基に総合的に評価する。 具体的には、レポート課題40点、グループワーク30点、授業への貢献30点の合計100点のうち60点以上を合格とする。 また、講義への出席が3分の2に満たない学生は評価の資格はない。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	【予習】事前学習課題などはLACSへUPしますので、必ず取り組んでから講義・演習へ参加してください。また、各回にキーワードを提示しますので、キーワードに関する内容を各自、文献、Webなどで調べておくこと (2h)。 【復習】LACSにアップされる講義資料、講義の振り返り、事前課題の追加・修正を行うこと (2h)。		
キーワード/Keywords	仕事、青壮年期、労働環境、生活習慣病、ストレス、健康管理、労働衛生、長崎		
教科書・教材・参考書/Materials	必要に応じて資料を配付する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	特になし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）		
学生へのメッセージ/Message for students	賃金が発生する仕事に就いた経験がない人が多いと思います。新聞やテレビ、インターネットなどで、仕事と健康に関係ある記事をチェックしたり、周囲で仕事をしている人たちの話を聞いたりすることが、授業の理解を深めるために有用です。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	長岡 清子/産業保健師として理論と経験に基づいた実務経験を有し、現在は、長崎産業保健推進センターの基幹相談員として活動している。/三菱重工業（株）長崎造船所に長年にわたり産業保健師として活動しており、理論と経験に基づいた実務経験を活かして、「働く人々との健康の実態と労働衛生」について職域の現状を踏まえた健康管理をテーマとすることで、健康問題に対する指導やケア、健康を保持・増進するための方略など、臨場感のある現場の「生の声」を知り、授業のまとめ（働く人々の健康術を考える）に繋げる。/ 松浦 江美/看護師としての実務経験を有している。/各職種での実務経験に基づき、本授業科目に必要な基本的知識、技能を講義、実習等により教授する。/ 橋爪 可織/聖路加国際病院での看護師としての実務経験および聖路加国際大学、長崎大学でのがん専門看護師養成コースの教員経験/病院での看護師勤務経験をもつ教員が、がん看護および緩和ケアについて指導する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回（4/14 4校時）	第1回 授業ガイダンス、青壮年期的特徴、仕事とは(松浦)	A
第2回（4/14 5校時）	第2回 仕事・労働環境の中に潜む健康問題とは(橋爪)	A
第3回（4//21 4校時）	第3回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題（1）（橋爪）	A
第4回（4/21 5校時）	第4回 仕事を継続する上での生活場面での健康問題（2）（松浦）	A B
第5回（4/28 4校時）	第5回 自分の身体について考える：演習（松浦・橋爪・三浦） 手洗い、血管年齢、アルコール体質検査、ストレスチェックなど	C
第6回（4/28 5校時）	第6回 自分の身体について考える：演習（松浦・橋爪・三浦） 手洗い、血管年齢、アルコール体質検査、ストレスチェックなど	A C D
第7回（5/12 4校時）	第7回 グループワーク1：仕事と健康について（松浦・三浦）	B D
第8回（5/12 5校時）	第8回 グループワーク2：仕事と健康について（松浦・三浦）	B D
第9回（5/19 4校時）	第9回 ストレスマネジメントの実際（松浦）	A B C
第10回（5/19 5校時）	第10回 グループワーク3：仕事と健康について（松浦・三浦）	A B C
第11回（5/26 4校時）	第11回 長崎の企業「ものづくり」における健康管理（長岡）	A
第12回（5/26 5校時）	第12回 グループワーク4：仕事と健康について（松浦・三浦）	A B C
第13回（6/2 4校時）	第13回 グループワーク発表1：仕事と健康問題について（松浦・橋爪・三浦）	B D
第14回（6/2 5校時）	第14回 グループワーク発表2：仕事と健康問題について（松浦・橋爪・三浦）	B D
第15回（6/9 4校時）	第15回 まとめ：将来してみたい仕事（興味がある仕事）の労働環境と健康問題、健康術について考える。（松浦）	A

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587052501	科目番号 / Course code	05870525
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15391_005		
授業科目名 / Course title	b3育児リテラシー入門 / Introduction to Parenting Literacy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 松浦 江美 / Matsura Emi, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 上野 美穂		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	永橋 美幸 / Nagahashi Miyuki, 大石 和代 / Ooishi Kazuyo, 上野 美穂		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	miyuki-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	坂本キャンパス 医学部保健学科4階		
担当教員TEL/Tel	095-819-7950		
担当教員オフィスアワー/Office hours	miyuki-a nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	妊娠、出産、乳幼児の発育・発達と育児に必要な技術等について学ぶ。長崎で育児する親子（または親）と交流することで育児の現状および課題を理解し、自らの課題として解決方法を考えることができる。		
授業到達目標/Course goals	妊娠・出産・育児での男女の役割について理解する。 育児技術（抱き方・寝かせ方、おむつ交換等）をおこなうことができる。 胎児・乳幼児の発育・発達と養護について理解する。 長崎の育児問題を整理し、課題および解決方法について発表できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業へ臨む態度 30点 (15回×2点) 予習復習課題について20点 小テスト20点 フィールドワークの課題10点、 課題レポート10点、 プレゼンテーション発表点10点 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習：各回の講義内容について文献、インターネット等を通じて予習する (2h)。 事後学習：レジメ等を参考にして授業内容についてノートにまとめる (2h)。		
キーワード/Keywords	妊娠・出産、育児、胎児・乳幼児の発育・発達、親子のコミュニケーション、育児技術、長崎の育児課題		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書なし 必要に応じて資料を配布する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	とくになし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	将来親になることを想定し、妊娠、出産、育児を身近なこととして意識して欲しい。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	永橋 美幸/長崎大学病院産婦人科および小児科での勤務経験/妊婦体験および新生児期の育児技術に 必要な専門知識と方法について指導する。/ 大石 和代/助産師/乳幼児と遊び、育児する親子との交流についてフィールドワークを行う。 上野 美穂/認定看護師(小児救急看護)/実務経験に基づき、小児の救急処置について本授業科目に 必要な基本的知識を講義する。/	
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回 (9/28)	授業ガイダンス、マザーリングマザー、妊娠中からの親子のコミュニケ ーション (永橋)	A
第2回 (9/28)	新生児の能力と養護、乳幼児の心身の発達・発育 (マザリーズ) (永 橋)	A
第3回 (10/5)	技術演習 (場所 保健学科) : 妊婦体験、新生児の抱き方、おむつ交換 (永橋、TA)	A B C
第4回 (10/5)	技術演習 (場所 保健学科) : 新生児の沐浴 (永橋、TA)	A B C
第5回 (10/12)	出産 (大石)	A
第6回 (10/12)	乳幼児と遊び (大石)	A B
第7回 (10/19)	乳幼児の病気 (上野)	A B
第8回 (10/19)	乳幼児の事故 (上野)	A B
第9回 (10/26)	乳幼児の救命講習 : (場所 北消防署) (永橋)	A B C D
第10回 (10/26)	乳幼児の救命講習 : (場所 北消防署) (永橋)	A B C D
第11回 (11/2)	長崎で育児する親子との交流 (フィールドリサーチ) (大石)	A B D
第12回 (11/2)	長崎で育児する親子との交流 (フィールドリサーチ) (大石)	A B D
第13回 (11/9)	長崎での育児の現状および課題と解決方法について検討 (グルーブワ ーク) (永橋)	A B D
第14回 (11/9)	長崎での育児の現状および課題と解決方法について検討 (グルーブワ ーク) (永橋)	A B D
第15回 (11/16)	長崎での育児の課題と解決方法について (プレゼンテーション) (永橋 大石 上野)	B D

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/01		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587066301	科目番号 / Course code	05870663
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 16381_005		
授業科目名 / Course title	b3健康増進と運動COC / Health Promotion and Exercise		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	田中 貴子 / Tanaka Takako, 松浦 江美 / Matsura Emi, 永江 誠治 / Nagae Masaharu, 平瀬 達 哉 / Hirase Tatsuya, 本多 直子 / Honda Naoko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	田中 貴子 / Tanaka Takako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	田中 貴子 / Tanaka Takako, 永江 誠治 / Nagae Masaharu, 平瀬 達哉 / Hirase Tatsuya, 本多 直子 / Honda Naoko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年次生 歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tanakataka nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	医学部保健学科3F 田中研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-7919		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 9:30-12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、ス ポーツ、メンタルヘルス等について理解する。また、健康に関わる問題点を抽出し、その解決方法を身 につける。		
授業到達目標/Course goals	1. 身体活動と食事のセルフチェックができるようになる。(DP-1・3) 2. 家庭医学知識のレベルを高める。(DP-1・3) 3. 青年期における健康づくりの意義と問題点について理解できるようになる。(DP-7) 4. 精神的な健康について理解できるようになる。(DP-7) 5. 健康における運動、スポーツの意義について理解できるようになる。(DP-7)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業へ臨む態度(20%),グループワーク・討論での積極性(20%),発表およびレポート内容(60%) を総合して評価する。100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習 特に指定しないが、グループごとの意見のまとめを共同して準備すること。(毎回2時間) 復習 講義の内容について復習するとともに、講義に関連する事項について自主学習をし、理解を 確実にするよう努めること。(毎回2時間)		
キーワード/Keywords	健康, 家庭医学, 体力, スポーツ, メンタルヘルス, ヘルスプロモーション		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しない。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特に指定しない。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	健康科学と医学の知識を高めるとともに、自身の健康増進や体力増進の実践方法を学んでください。また、グループワークを行いますので、友達を増やす機会になればと思います。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y 理学療法士として長崎市内の病院に勤務した経験をもとに青壮年の健康について教授する。
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	永江 誠治/看護師が病院（精神科）にて実務経験/精神看護に必要な基本的知識についてActive Learningを用いて指導する。/ 本多 直子/小児病棟での勤務経験、子育て支援センターでの発達・子育て相談事業/一般的な子どもの発達、発育とそのアセスメント方法について教授する。/ 平瀬達哉/理学療法士としての長崎県内での病院での経験を元に青壮年の体力について教授する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 青年期の健康を考える?身体機能について学ぶ
第2回	青年期の健康を考える?現在の問題点を探る
第3回	青年期の健康を考える?対策を考える
第4回	青年期の健康を考える?家庭医学知識を高める
第5回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第6回	青年期のメンタルヘルスについて学ぶ
第7回	青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ
第8回	青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ
第9回	青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ
第10回	青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ
第11回	青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ
第12回	青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶ
第13回	青年期の健康と小児期の健康との関連について学ぶ
第14回	青年期の健康と小児期の健康との関連について学ぶ
第15回	青年期の健康と小児期の健康との関連について学ぶ
第16回	青年期の健康と小児期の健康との関連について学ぶ